



徳成寺 寺ともかわら版 第104号 2015年8月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

今月で終戦から70年を迎えます。僧侶の瀬戸内寂聴さんが腰の圧迫骨折を押して、安保法案に反対するため国会前の

デモに参加した姿を見ました。93歳にもなる年老いた女性が、

「死んでもいい」と駆けつけたのです。たいていなら身体が一番なので

思いはあっても実行に移すことは容易ではないでしょう。そこに

どんな思いが託されているのか想像するのは、難しくありません。

同じ仏教者として、彼女を誇りに思います。私たちにとって

本当に大切なものは何でしょう？一緒に考えましょう。

発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山ひびみ



*子供向け教材「お坊さんといっしょ」をご希望の方は連絡して下さい。無料進呈中

徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

長男です。

さよならドビュッシーという本を読みました。ピアノの特待生の主人公が度重なる不幸にあいながらも天才ピアニストの指導を受けながらコンクール優勝を狙う…というスポ根要素を含みながらも主人公を狙う何物かを推理するミステリー小説です。

主人公は地元でも有数の良家のお嬢様で、様々な妬みや障害などに苛まれながらもピアノを一心不乱に練習するのですが、ピアノを弾くたびに主人公は何のために自分は生きているのか、何の因果でこのような目にあっているのか苦悩しながら前に前に進む姿が突き刺さります。何となく今の自分にも当てはまるような事があり、自分が何のために生きているのか、誰のための人生なのか考えながら1日1日生きて行かなきゃいけないなあと思いつつ、何か一つに命かけて打ち込むような青春を送りたかったと思う今日この頃です。写真はさよならドビュッシーの表紙です。どんでん返しのラスト、主人公を巡る数奇な運命、そして何より熱い青春を追体験したいという方は是非読んでみてください。合掌。

